



# PF 家庭犬マナーテスト -ビギナークラス- ルールブック

(受験者用)

2021年12月10日 改

#### 受験資格

- 畜犬登録がされている(飼主が鑑札を持っている/犬が装着している)
- 必要なワクチンが済んでいる
  - 1年以内に狂犬病ワクチン・混合ワクチンを接種
- 適切なグルーミングがされている
- 健康な犬である/治療内容や病状を飼主がきちんと把握している
- 受験時に犬が5ヶ月齢以上である
- (雌犬のみ)ヒート期間ではない

#### 失格項目

- 試験項目で「×」がついた場合
- 試験中 人に対しての噛みつき行為が見られた場合(空噛みも含む)
- 試験中の排泄行為
- (雌犬のみ)ヒートの把握がされてない場合
- オフリード(手からリードが離れること)が確認された場合
- テスト会場から見える範囲で  
犬に矯正・罰・乱暴なトレーニングが施されている場合
- 装着されている犬具が締めきり状態だった場合
- ジャッジが犬のコントロールが不能になっていると判断した場合  
又は試験続行不可能と判断された場合
- 本試験の指定時間内に遅刻・無断欠席した場合

#### 注意事項

- 試験中のトリーツ/おもちゃ(周囲の状況を見て使用)の使用は可とする  
ただし、指定された項目に関しては使用を制限する場合がある  
詳細は各項目を参照
- 試験は1頭ずつ行う
- 基本的に飼主の姿勢は問わない
- 試験中のハンドラー交代は可とする

### 審査基準

- ✓ 試験時テスト項目が「×」と判断された場合、失格となる。
- ✓ 採点は、飼主 100 点満点+犬 100 点満点のペアで計 200 点満点。
- ✓ それぞれ 70 点以上で飼主のみもしくは犬のみの合格となり、また双方が合格点に達していればペアでの合格となる。  
ただしどちらかが合格点に達していなくても、合計 160 点以上でペアでの合格となる。
- ✓ 会場内の刺激に対する吠え、唸り全般、飛びつきの回数について
  - 飛びつき（飼い主に対してはカウントしない）  
…両前肢が浮いた状態でどちらかの肢が飼主以外の人/物に触れた場合
  - 会場外の刺激への吠えはカウントしないが飼主の対応はチェックする
  - 10 回以上で失格
- ✓ 試験項目 7,8 のコマンドについて
  - 「すわれ」「ふせ」「おいで」はそれぞれカウントする。
  - 「まで」はカウントなし。
  - 視符の継続は可とする。
  - 視符のみのやり直しも 2 カウント目をとることとする。
  - コマンド 10 回以上で失格
- ✓ ○…5 点    △…2 点    ×…0 点(失格)
- ✓ 犬具は予め締まらないようにしておく

### 他

- ✓ 試験時間…1 組 30 分程度を想定・解説含
- ✓ 犬の馴致や休憩等も含め 1 組辺り 1 時間の時間を取る  
※ 当日のスケジュールを参照

### 試験料金

- ✓ ￥1,000(総額 ￥1,100)

1. (犬への理解) 他人との会話中での犬の様子(口頭質問・事前申告)

[審査]: ジャッジと約 1.5m 離れ、口頭での質問に答える。

[備考]: 犬を抱っこしても良い



2. (他人との関わり) 他人が犬を触る

[審査]: ジャッジが犬に近づき、犬へ触れる。飼主は触らせる上での注意点があれば指示できる。



3. 健康チェック

[審査]: 他人もしくは飼主が犬の目・耳・口・背中(毛並み)・足先・肛門周りのチェックをおこなう。



#### 4. (散歩) 飼い主の横を引っ張らずに歩く

[審査]：約 3m 幅のラインを犬と一緒に往復する。トリーツで誘導し続けても良い。



#### 5. (散歩) 犬を連れて人の側を歩く



##### ① 無言で歩く

[審査]：犬を連れて立っている人の約 1.5m 離れた場所を、無言で通り過ぎる。



##### ② 挨拶を挟む

[審査]：上記①の項目の途中で、犬を連れての人に挨拶をする。

#### 6. (動物病院の待合室・テーブルマナー) 人&犬の近くで待つ

[審査]：犬を連れて他人の近く(約 2m)でイスに約 1 分間座る。

30 秒経過時に、飼主が近くに置いてあるジャッジに指示された物をつかみ動かす。

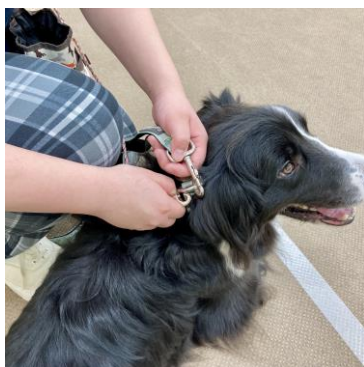


[備考]：飼主に 10 回以上飛びついたら失格

## 7. (基本的な合図) おいで

[審査] : 3m 程度離れた場所から呼び戻しをおこなう。その間、他人がロングリードを持つ。  
他人からロングリードを受け取り付替え→離れる(自分のリードと一緒に持っていく)  
→呼び戻し→自分のリードへ付替え

[備考] : リードの付け替えは犬を抱き上げてても良い  
飼主の姿勢は問わない



## 8. (基本的な合図) 座れ・伏せ

[審査] : 飼主の前で犬に合図を出し、約 10 秒間維持。

[備考] : コング等の知育玩具の使用やトリーツを絶え間なく与え続けるの姿勢の維持は不可  
飼主の姿勢は問わない



## 9. (その他) 係留(他人にリードを預ける)待機



[審査] : 他人(飼主が指定して良い)が飼主からリードを預かり、  
30 秒間程度、飼主は姿を隠す。

[備考] : 係留中、飼い主から犬への声掛けをしても良い

## 10. (お手入れ) 日常のお手入れを受け入れる

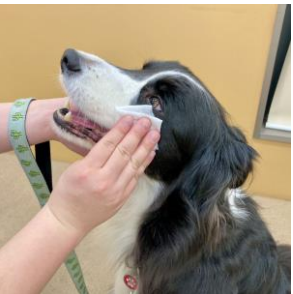
[審査]: <ブラシ・足拭き・顔周りを拭く・耳掃除・歯磨き(シート)・犬具の着脱>の中から飼主が2項目を選択。飼主が犬にお手入れをする。



- ブラシ  
…背中/胸/耳後ろ/四足の中から  
ジャッジが選んだ2か所のブラシがかけられる



- 足拭き  
…両前肢もしくは両後肢どちらかを  
ウェットティッシュで拭くことができる



- 顔周り  
…目口の周りの顔片方をウェットティッシュで拭くことができる



- 耳掃除  
…片耳をウェットティッシュで拭くことができる



- 歯磨き  
…歯磨きシートを使って片面全て行える



➤ 犬具着脱

…用意したリードに繋がれた上で

自前のカラーの着脱を行うことができる。

他人が輪にしたリードを犬の首にかけた状態でおこなう。

## 11. (その他) クレート待機(1分間半)

[審査]：犬をクレートに入れ、飼主は会場内で約1分半犬から見えないところへ離れる。

[備考]：抱き上げて入れてはいけない

2ドアタイプでも上から入れることはできない

クレート待機中、飼い主から犬への声掛けをしても良い







**PET FOREST**